



文化部の思い出
前文化部長
北野正之

コ推協が今年、二十五周年を迎えることとなり、意義あることと心からお祝いを申し上げます。

平成五年に新しい公民館の落成祝賀演芸会が盛大に催されました。その中で、吉本前会長が日本舞踊を舞っていた姿が目につく、その面影がいつも懐かしい思い出となっております。その後も「ふれあい祭り」で、日本舞踊を舞っていただきました。

さらに、小学校の第二・第四土曜日が休日になることで、前会長の発案により「大人と子どもが集い」を始めて、昔の遊び、工作等を子ども達と一緒に進めてきました。後に名も「どんぐりクラブ」と改めて、今も続いています。



「支援をよろしく」
体育部長
小林茂夫

縁あって地御前に住んで二十五年、しかも今年結婚式、まさにコ推協二十五周年と歩調をともにしています。



私の二十五周年記念
地御前小学校長
佐伯和夫

私は、コ推協発足の一年前に田屋に転居してから二十五年間、昨年まで住まわされていた地、地域の皆様のおかげで地御前は大事な故郷になりました。

二十五年前といえば、田屋には笛やメダカがいたの思い出します。この間、二人の子供は地御前小学校に通い、チアガール、馬とばし、管絃祭、子供会での肝試し、秋祭り、魚釣りなどを経験させてもらいながら成長しました。創立百三十九周年目の伝統ある地御前小学校で、保護者、地域の皆様の御期待にお応え

できますよう全力で頑張ります。ご支援よろしくお願い致します。



地御前小学校創立百周年記念事業とコ推協
会長
相良宏三

地御前小学校が創立されたのが一八七三年（明治六年）でした。私が小学校PTAにかかわったのが一九七四年（昭和四十九年）の長男入学からでした。

当時小学校は前年から校舎改築中で、運動場も狭められて記念行事が出来ない状態ではなかった、一年遅れでの百周年記念でした。

その記念行事の一つに、午前が小学校の、午後が地区民のと言う変則的でしたが、非常に楽しい運動会がありました。それがコ推協の運動会へつながったのだと思います。



学校週五日制と地域
野坂中校長
砂堀正治

二十五周年おめでとうございます。今年度から、子どもたちに「生きる力」を育むために、学校は週五日となりました。

地域の担い手を育み、活力ある社会を形成していくことは、コミュニティの大きな役



管絃祭の夜
地御前郵便局長
谷野純一郎

地域の子どもたちを、地域で育つ零細気づくりや身近な取り組みから、体験活動の場づくりを進めていただければと思います。

地元の郵便局長として十一年余りたちまちが、故松本武様をはじめ多くのコ推協の方々にご指導、お心遣いをいただき心から感謝しています。沢山の思い出の中からあえて一つをあげれば、コ推協・郵便局共催の一ふさと回顧写真展になります。かつての地御前の様な風景写真をスライドにとり、郵便局の白い外壁に拡大投影をしました。多くの方々が集まり、松本様がマイクで解説されました。今後も管絃祭の夜でした。



これもコ推
前青少年部長
塚迫たか子

今後地御前の歴史、文化を継承し、皆様がすこやかに生活できるよう、コ推協のお手伝いを続けたいと思います。



古きをたずねて新しきを知る
市議会議員
中山薫

コ推協結成時から参画した一人として当時を懐かし、今、改めてその歴史と意義を痛感しています。

昭和三十三年、地御前出身の益井選手活躍で、広島島が夏の全国高校野球大会で優勝したとき、旧公民館、農協付近は身動きも出来ない程の人、人の山で、今も私は地域の皆様をすばらしい一体感を忘れることが出来ません。わが地御前地区がコミュニ

ティ実践地区の指定を受け、大きな足跡を残された今は故人となられた先達や知友の方々があらためて偲ばれます。昭和五十二年八月に創刊された「じーぜんひろは」の題字は、元広報部長の故須賀唯志様の書によるものです。

地域の連帯、地域の願望尊重、活動への参加により、将来の展望が拓け、更に発展することを願います。



私の思い
副会長
林扶実夫

近年、少子家庭が増えてくるせいか、過保護に育っている子供が多いように思います。スポーツを習っている子供も、昔に比べると少なくなっています。そのせいか指導される方も、せっかち習い始めた子供に昔風に厳しくすると、止めてしまおうとの危惧から、多少遠慮していると感じます。

持久力や強靱性に欠ける子供が増加しているのは、スポーツによる訓練や鍛練の不足によるのではないのでしょうか。やはりスポーツによって健全な心身を作りあげることが大切だと思います。

また、運動不足による体力の低下以下に、心身の健康が損われていく方が、もっと深刻な問題であるように思っています。



コ推協ひと模様
広報部長
中村英雄

じーぜんひろは創刊号編集後記より。「ひろは」とは、昔のギリシャ時代から民衆の討議が行われた所で、人々が集まり話し合う場所を指す。住民のみならずが自由な発言をし、そこからコミュニティの方向をお互いの英知で探し、大きな広い輪を広げようと願って名付けられた。

コ推協常任理事事務所所属年数十傑。故吉本武・二十年、林扶実夫・十九年、中山薫・十八年、故松本武・十六年、村上五郎・十六年、宮本忠雄・十五年、伏本節夫・十四年、山崎憲子・十四年、故小方一郎・十年、油木徹・十年、次郎・九年の相良宏三、北野正之、中谷満の方々。地域奉仕に敬意をささげます。



地御前パワ
地御前公民館長
星野昭治

地御前地区コミュニティ推進協議会二十五周年、誠にありがとうございます。先日の地区運動会では、参加する人の多いことに地御前のパワーを感じました。近頃ここまで運営できる地域は少ないでしょう。地域の行事を



地域づくりに参加を
監事
村上五郎

通して声を交わし、知り合いを深め、いざという時の支え合う力が育つのでしよう。これから益々少子化、高齢化の社会、このような地域の力が必要になってくるのでしよう。今年から組織されたまちづくり委員会とコミュニティ推進協議会が、組織的に連携し、地域の力で結果するよう大いに期待しております。



心のふれあうまち
地御前町会連絡協議会長
宮本育生

コ推協創立二十五周年おめでとうございいます。人間も二十五歳といえど花ざかり、やがて実を結んで収穫の時期を迎えます。今日まで格段の努力を傾注してこられた方々に敬意と感謝を表します。今まで愛し育ててこられたこの地御前を、いかに発展させていくかが、私達の当然の使命と考えます。

折しも現在まちづくり委員会が発足して、地域活性化の「場づくり」が出来、より多くの人が集まり、互いに五感を刺激しあい、意見をまとめ、みんなで心のふれあう町づくりを築きあげたいものです。



管絃祭の夜
地御前郵便局長
谷野純一郎

地域の子どもたちを、地域で育つ零細気づくりや身近な取り組みから、体験活動の場づくりを進めていただければと思います。

地元の郵便局長として十一年余りたちまちが、故松本武様をはじめ多くのコ推協の方々にご指導、お心遣いをいただき心から感謝しています。沢山の思い出の中からあえて一つをあげれば、コ推協・郵便局共催の一ふさと回顧写真展になります。かつての地御前の様な風景写真をスライドにとり、郵便局の白い外壁に拡大投影をしました。多くの方々が集まり、松本様がマイクで解説されました。今後も管絃祭の夜でした。



これもコ推
前青少年部長
塚迫たか子

今後地御前の歴史、文化を継承し、皆様がすこやかに生活できるよう、コ推協のお手伝いを続けたいと思います。



古きをたずねて新しきを知る
市議会議員
中山薫

コ推協結成時から参画した一人として当時を懐かし、今、改めてその歴史と意義を痛感しています。

昭和三十三年、地御前出身の益井選手活躍で、広島島が夏の全国高校野球大会で優勝したとき、旧公民館、農協付近は身動きも出来ない程の人、人の山で、今も私は地域の皆様をすばらしい一体感を忘れることが出来ません。わが地御前地区がコミュニ



地域の文化との触れあいを通して
地御前保育園長
山根りえ子

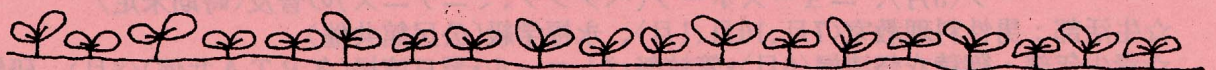
地域の皆様には、日頃から子どもたちを温かく見守り、支援していただきまして深く感謝いたしております。特に郷土文化保存会の方々は、夕涼みや新年の会などにおいて、大変お世話になっております。盆踊りの練習では、いっしょに輪になって声をかけて教えていただきました。子どもにとっては、身近な地域の文化に触れることが出来る良い機会であると思います。

伝統的な文化に触れ、体験をしていくことで、子どもたちの心の中に「地域を大切に思う心」が育っていくのだと思います。

パソコンクラブを教える
中町 世田 正光
五十人以上後輩の地御前小学校五・六年のおよそ二十人からなる「パソコンクラブ」

地御前コ推協 25年の歩み（年表）

- 昭和52年(1977年) : ◇ 5月 廿日市町地御前地区が広島県より「福祉の地域づくり実践地区」の指定を受ける(人口 5,762人、世帯数 1,645) ◇ 6月 地御前地区コミュニティ推進協議会結成第1回総会開催、初代会長 中川辰美就任、会の規約制定、事業5部(広報・文化・福祉・体育・生活)設置 ◇ 7月 廿日市町の郷土芸能祭に地御前盆踊り披露 ◇ 8月 広報紙「じごぜんひろば」創刊号発行 ◇ 8月 原爆33回忌供養盆踊り大会開催(野坂地区) ◇ 9月 地御前青年会結成総会、宮沢 弘 県知事出席 ◇ 9月 史跡探訪兼歩け歩け運動 ◇ 10月 青年会が21年振りに俵もみを繰出す(秋祭り) ◇ 10月 第1回廿日市町民体力づくり運動会-地御前地区優勝 ◇ 11月 地御前漁協青年部-水産部門(カキ養殖)が天皇杯受賞 ◇ 12月 標語入りコミュニティ標柱を28か所に設置
- 昭和53年(1978年) : ◇ 2月 コミュニティづくりニーズ調査(全戸) ◇ 2月 桜の木130本各所に植樹(生活部) ◇ 4月 コ推協規約一部改正 町内会長=理事とする、常任理事を置く、青少年部を新設 6部とするほか ◇ 5月 広島フラワーフェスティバルに俵もみ出場(青年会) ◇ 8月 廿日市ニュータウン(阿品台)入居開始 ◇ 8月 納涼盆踊り大会 ◇ 9月 コ推協主催第1回地区運動会開催 ◇ 10月 青年会館落成式 ◇ 11月 町教委巡回ふるさと写真展開催に協力
- 昭和54年(1979年) : ◇ 4月 会長 小方一郎就任 ◇ 扇園町内会、掘新町町内会発足 ◇ 6月 地御前小学校体育館落成祝賀運動会・演芸会 ◇ 8月 コ推協の活動が県版「コミュニティ実践事例集」に掲載
- 昭和55年(1980年) : ◇ 5月 福祉の地域づくり実践地区指定期間3カ年を終了するも活動継続とする ◇ 8月 白ポストを農協前に設置 ◇ 11月 地区内7カ所に掲示板を設置
- 昭和56年(1981年) : ◇ 2月 新住居表示 地御前・阿品分離 ◇ 4月 阿品地区と地域づくりについて研究協議 ◇ 11月 地御前から阿品地区分離「阿品地区コミュニティをすすめる会」発足 ◇ 12月 「じごぜんひろばNo.10」阿品地区へ配布(今号で終了)
- 昭和57年(1982年) : ◇ 1月 安芸郡社会教育振興会メンバーと交流研修会 当コ推協ほか視察 ◇ 2月 ふるさと映画「ひらけゆく地御前」(8ミリ、カラー20分)ほか年内8本製作 ◇ 3月 婦人会が食用油廃油回収 ◇ 4月 扇園集会所設置 ◇ 6月 地御前神社馬とばし(流鏝馬神事)15年ぶり復活
- 昭和58年(1983年) : ◇ 1月 佐伯郡研修会で「青少年活動の歩み」を発表(青少年部) ◇ 3月 コ推協シンボルマーク及びバッジ作成 ◇ 8月 ふるさと映画「地御前盆踊り」ほか年内3本製作 ◇ 11月 「じごぜんひろばNo.17」同和教育特集号発行、本号から題字欄にシンボルマーク使用
- 昭和59年(1984年) : ◇ 地御前地区青少年問題研究会開催 ◇ 5月 地御前電停前ラック式駐輪場完成 ◇ 7月 地御前村民のハワイ移民100年記念追悼親善訪問(小方一郎団長-西向寺・正行寺主催)、本願寺ホノルル別院で地御前物故者追悼法要 ◇ 6月 「ひろば」をハワイ関係者へ送付 ◇ 10月 ふるさと映画「秋祭り」ほか年内3本製作
- 昭和60年(1985年) : ◇ 2月 地御前地区青少年問題研究会を地御前公民館で開催 ◇ 3月 「じごぜんひろばNo.22」青少年部特集 ◇ 5月 地区運動会雨天中止-チアガール競演会実施 ◇ 10月 秋祭りによそのハナが出て事故を憂慮 ◇ 12月 地御前電停プラットホームの改善運動が実を結ぶ
- 昭和61年(1986年) : ◇ 3月 「じごぜんひろばNo.24」青少年特集 ◇ 10月 秋祭り事故(ハナ)防止活動(地御前小PTAとも) ◇ 11月 小方一郎会長死去 副会長松本 武 会長代行
- 昭和62年(1987年) : ◇ 2月 山陽自動車道(廿日市~五日市)開通 ◇ 4月 保健・福祉センター竣工 ◇ 4月 地御前電停プラットホーム移設完了 ◇ 5月 会長 伏本節夫就任 ◇ 5月 コ推協結成10周年記念行事(式・地区運動会・餅つき大会・踊り及びプログラムに10年の歩み記載) ◇ 5月 「地御前郷土歴史の散歩道」A~Eコース案内図作成(文化部) ◇ 7月 生活部・公民館婦人学級・永福学級・婦人会の四者交流会 ◇ 7月 町内パトロール用の腕章作成(青少年部) ◇ 9月 県営住宅町内会発足 ◇ 10月 青年会結成10周年記念俵もみ大会
- 昭和63年(1988年) : ◇ 2月 市の木桜植樹 ◇ 3月 地御前保育所建替え工事竣工 ◇ 4月 廿日市市制施行 ◇ 4月 JR宮内串戸駅開設 ◇ 5月 コ推協規約一部改正 規約の名称を会則に改め、地元選出町議会議員(理事)を常任理事とする、会費100円/戸を明示ほか ◇ 5月 市制施行祝賀運動会・演芸発表会・作品展示会 ◇ 9月 コ推協・婦人会合同の挨拶運動
- 平成元年(1989年) : ◇ 6月 地御前人口: 昭和31年9月 5か町村合併前 4,420人、6月1日現在 20,776人 内訳 地御前 6,684人 阿品 2,532人 阿品台 11,560人 ◇ 6月 2市2町連絡協議会「地域のまちづくり」参加 ◇ 7月 「郷土文化踊り」が海と島の博覧会に出場
- 平成2年(1990年) : ◇ 4月 野坂中学校開校 ◇ 4月 コ推協会則一部改正 会費100円→150円/戸とする ◇ 12月 広島・岩国道路(廿日市~大竹)全面開通
- 平成3年(1991年) : ◇ 2月 丸子町町内会発足(丸子山開発造成地) ◇ 4月 地御前婦人会は女性会に名称変更 ◇ 7月 「公民館だより地御前」発行通算50号



- 平成4年(1992年) : ◇ 1月 地御前コ推協が広島県知事表彰(団体の部)(発足15年目) ◇ 3月 地御前3丁目堀集会所設置 ◇ 4月 地御前老人クラブ連合会→地御前長寿連合会に名称変更
◇ 4月 エスティム地御前町内会発足 町内会数 27
- 平成5年(1993年) : ◇ 4月 新地御前公民館落成祝賀式・懇親会・演芸大会実施
◇ 4月 会長 吉本 武就任 ◇ 9月 自治宝クジ助成品(グランドゴルフ及び綱引き用綱)受領 ◇ 10月 秋祭りに危険な「ハナ」の排斥運動 ◇ 12月 野坂地区スポーツ活動推進地域指定
- 平成6年(1994年) : ◇ 4月 第1回地御前地区市民ふれあい祭り演芸会開催 ◇ 11月 第20回地御前公民館まつり ◇ 10月 管絃祭・秋祭りでのパトロール強化(青少年部)
- 平成7年(1995年) : ◇ 3月 グランドゴルフ大会に綱引き種目追加 ◇ 4月 桃山団地住宅建設 ◇ 6月 会則改正委員会設置、以降翌年3月まで15回開催 ◇ 10月 “公民館だより地御前”発行100号
- 平成8年(1996年) : ◇ 1月 廿日市市教育委員会による地御前小学校移転整備事業説明会
◇ 5月 会則改正「学識経験者」は範囲を広げて「有識者」に改め、関係団体を明確にし、構成員は事業6部のいずれかに所属することも明記、表彰制度を設けたほか ◇ 10月 ひろしま国体(柔道競技)ふるさと応援団に参加 ◇ 11月 JA広島総合病院増改築工事説明会
- 平成9年(1997年) : ◇ 6月 コ推協発足20年 ◇ 3月及び7月 “じごぜんひろば”コ推協20周年記念特集号 第1集 第2集発行 通算45号 ◇ 4月 ふれあい祭り通算4回 ◇ 5月 地区運動会通算19回
◇ 8月 コ推協20周年記念写真展 ◇ 4月 市制施行10周年 新庁舎・文化センター落成
◇ 5月はつかいち文化ホール(さくらびあ)落成祝賀祭「ふれあい友の祭典」に出場
◇ 6月 ナイトウォーキング開始(体育部) ◇ 6月2日現在 地御前地区人口 世帯数2,691
総数 7,241人 男 3,418人 女 3,823人 ◇ 8月 自由が丘団地(元海軍山)造成終了
- 平成10年(1998年) : ◇ 3月 綱引き大会(体育部) ◇ 4月 ふるさと写真展 ◇ 8月 ふるさと回顧写真展・スライド映写会(郵便局共催) ◇ 9月 地御前地区町内会長対象「町内会の運営に関するアンケート」実施 ◇ 9月 電停「JA広島病院前」開設 ◇ 12月 介護・男性料理教室(生活部・簡保支援)
- 平成11年(1999年) : ◇ 4月 廿日市市生活環境課コミュニティ係→自治振興課に改編
◇ 5月 会則一部改正 事務局を会長宅に置く、女性会の削除等 ◇ 7月 青少年育成廿日市市民会議・コ推協青少年部共催「スケボーだ!全員集合」◇ 8月 地区運動会町内会別区割り改正(来年度から実施) ◇ 10月 介護教室講演会(生活部・簡保・地御前郵便局共催) ◇ 12月 自治振興課・地御前公民館による説明と協議「コミュニティ推進計画に係る地域実態調査について」
- 平成12年(2000年) : ◇ 4月 日本赤十字広島看護大学開校 ◇ 4月 桃山・自由が丘両町内会発足 町内会数 29 ◇ 6月 自治振興課による「地域づくり支援事業説明会」 ◇ 7月 コ推協を窓口として地御前地域づくり支援事業特別委員会を設置 ◇ 9月 地御前地域づくり実行委員会に改称
- 平成13年(2001年) : ◇ 3月 廿日市リサイクルプラザ完成 ◇ 3月(24日15:28) 芸予地震発生、震度5強 ◇ 3月 映画「DRUG」(麻薬)上映会(青少年部) ◇ 4月 歩こう会スタート(体育部)
◇ 5月 地区運動会開催時間を半日間に変更 ◇ 5月 市循環さくらバス開通
◇ 6月 会長 相良宏三就任 ◇ 10月 コ推協表彰(会則15条) 前会長 吉本 武
- 平成14年(2002年) : ◇ 4月～7月 コ推協発足25周年記念事業 ◇ 4月 ふれあい祭り(第9回-文化部)
◇ 5月 地区運動会(第24回-体育部) ◇ 5月 地区町内会全世帯へ配布=記念品及び記念式・祝賀会案内状 ◇ 6月 式・祝賀会(来賓ご出席)・功労者表彰(於 地御前小学校体育館)
◇ 7月 “じごぜんひろばNo.55”(紙面サイズB5→A4に変更)記念特集号第1集発行
◇ 5月 地域づくり実行委員会は地御前まちづくり委員会に改称 まちづくり実施計画書作成
◇ 6月1日現在 地御前の人口: 世帯数2,896 総数7,312人 男3,430人 女3,882人



※ この年表は、“じごぜんひろば”“コ推協総会資料”“公民館だより地御前”及び“市役所手帳はつかいち”から引用して作成しました。(広報部)

◎地御前コ推協 各部年間主要事業

- ☆事務局: 事務、会計、監査、理事会、常任理事会、総会、新春懇談会(公民館共催)、行事総括
- ☆広報部: 広報紙“じごぜんひろば”の発行(1月1日、7月1日)配布(全戸)、地域行事等の写真取材
- ☆文化部: どんぐりクラブ(大人と子どものつどい)〈毎月1回〉、郷土民謡伝承講座〈毎月1回〉、郷土歴史の散歩道〈11月〉、ふれあい祭り〈4月〉
- ☆福祉部: ささえ会(ひとり暮らし高齢者昼食会)〈5月、10月、2月〉、講演会
- ☆体育部: 歩こう会(年間を通し万歩計で計測)、地区運動会〈5月〉、秋のハイキング〈11月〉、軽スポーツ〈3月〉、ニュースポーツ(ペタンク、ミニテニス)の普及〈時期未定〉
- ☆生活部: 男性料理教室〈7月、10月、1月〉、永福学級(公民館共催)
- ☆青少年部: 御稜衣祭清掃〈6月〉・管絃祭パトロール・翌日清掃(各PTA共催)〈8月〉、研修・講演会



じとせんひろば

No. 56 2003年(平成15年)1月1日

地御前地区コミュニティ推進協議会
25周年記念特集号 第2集



松井県議会議員



山下廿日市市長



地御前地区コミュニティ推進協議会
創立25周年記念
式典祝賀会

相良会長挨拶



田淵県知事代理



地御前小学校 記念合奏披露



感謝状贈呈

◆感謝状受賞者◆
吉村松譜中須小市◆
久本上本村山川館方川
弥正光辰唯一英次
津武吉郎美志郎明人
油山村宮増藤伏林二
木崎上本村本本 階
憲五忠春唯節扶正 英
徹子郎夫男俊夫夫 薫
雄満市子昭満之茂夫江保之子巧良幸

◆団体◆
地御前郷土文化保存会
地御前漁業協同組合
地御前商店会
地御前青年会



祝い酒 剣舞の謡



青雲の詩

祝25周年 祝賀会



乾杯 仁井田市議会議長



ウットリ!



晴れやかに祝賀会



万歳三唱 中山市議会議員

DENMARK 紀行

奥野 法保

親の重ねた年齢の重みを感じ
るようになった。入所当初か
らの数年はまだ気分も元気が
溢れ、互いに力いっぱい
「今日もよかったね」と慰め
合って帰って来たものです。
昨年五月十一日の昼食時に
突然、私は母にある異変を感
じ、これは介護して下さるケ
アワーカーさん方ばかりお
まかせしてはならないぞ!家
族の者の親身な看護が必要
なんだと深く感じ、これはケ
アワーカーさんと家族と本人
の三者一体の親密な介護が大
切だと思いました。そして、こ
れまで以上にワーカーさん
、看護師さんの方々のコミュ
ニケーションをとるため、
私は必死の思いで施設全体の
方々との密な連絡と関わり合
いを持つよう努めた。

今は、嚥下力がやや困難に
なって、また、水分がむせて
咳き込むといった障害の外は、
格別な変容もなく暮らせてい
た。食事ミキサー
食、お茶までトロミをつけて
行き届いたお世話に感謝して
いる。現在、週一度の見舞い
が心楽しみとなり、母も幾ら
か心が安らいで笑みを表して
くれる。

六月二十日、機首をぐるり
と北に向け山形県上空から日
本海に入り、ウラジオストク
を左に見て成田から三時間余
の飛行からハバロフスク通
過あたりで、ゆるり西へとカー
ブをとった。
シベリア高原に入り、いよ
いよロシアの北の上空を真っ
直ぐ西へ西へと。
もうこの辺りへ来ると乗り
心地は新幹線より快適だ。一
昔前まではこの辺りでは安心
して飛行できなかったはずだ。
六時間ぐらいい飛んだらうか
……それにしてもロシア大陸
は広い。フィンランド上空よ
り南下する。スカンジナビア
半島からの季節風で機体は縦
に横に揺れる。ヨーロッパ大
陸へ奥座敷から入ったような
ものだ。眼下の家々の屋根が
水平の位置に迫る。降り立つ
寄航地はフランクフルト。そ
こからコペンハーゲンへ飛ぶ。
ローカル線なので機体は小さ
く足がすくむようだ。乗客の
拍手喝采の内に無事に着地し
た。



往時の王宮フレドリクスボルグ城

走る。山がないので広々とし
て遠くまで見渡せる。夜七時
過ぎなのにお日さまはまだ高
くまぶしい。成田空港で娘か
ら無事出産の報を受けていた
ので大学の付属病院へ駆け込
む。予定日より三週間も早い
で産んだ。山がないので広々とし
て遠くまで見渡せる。夜七時
過ぎなのにお日さまはまだ高
くまぶしい。成田空港で娘か
ら無事出産の報を受けていた
ので大学の付属病院へ駆け込
む。予定日より三週間も早い
で産んだ。

ぶりの肌をあらわに出して日
光浴にいそむ様子は男性に
とって目の保養の季節でもあ
る。夏は待ち遠しいものの一
つで皆んな浮き足立っている。
吹く風も心地よい。夏の平
均気温は最低10度、最高20
五度前後である。太陽が近く
て肌にチカチカするようだ。
どこへ行っても視界は開け、
収穫間近の麦の黄色い匂う
たが風の吹くたび大きなう
ねりをふくめてくる。赤い屋
根に白い壁、支柱の黒の現地
独特の大農家は麦の中に埋没
して点在している。道路から
その家まで五百mはあるだろ
う距離に、樹齢百年以上の大
木が美しく間隔をおいて立っ
ている風景は絵になる。
八月十日、穏やかな田園風
景は途端に騒音と化す。大型
コンバインがやけに広い麦の
じゅうたんをなめ尽して、脱
穀したはしから麦藁は大きな
丸や四角の束となって転がる。
脱穀された麦はこぼれればか
り無造作に一俵乗せられてピ



果てしなく続く麦畑と収穫後

ストン輸送される。一年のう
ち一番の繁忙と稼ぎの時期で
ある。
広い国ではないが、真っ直
ぐ行けば突き当たりそうな日本
とは違って、だだっ広くて身
を置くで溶けてしまいうた。
食だけでなく、この国の気候
風土がスケールの大きな心や
心を作っているのかも知れな
い。のんびりとまたどっぶり
と漬った二ヶ月間……。日本
ではまた、こせこせと身を動
かしている自分である。

よくぞ25周年特集号

印刷担当 大山 盛長

「コミュニティ会報を作
るから知恵を貸して」と故、
松本武さんをお招きした。彼は
永年、町の広報を担当、コン
クールで優勝もした経験者。
「広報はお知らせ版、資料
も多岐から出る。コミュニティ
は、地域活性化へ、住民の意
見や提案、批判等をまとめる。
簡単ではないよ。」
「原稿が集まらぬ。短か過
ぎたり長過ぎたり、編集は大
変だが、苦勞の割に見える上
たものは簡単そうに見える」と、
松本さんの苦心談。
その後、会報編集は、伏本
先生、中谷さん、中村さんと
受け継がれ、よくぞ25周年記
念特集号発行に結びつけた。

前号に引き続き、ゆかりのある方々、支援くださっている方々を中心に、コミュニティの思い出・思いなどを寄せていただきます。緩い字数制限のため、文の長短をご了承ください。(アイウエオ順)



誇り得る、
二十五年の歩み
前地御前公民館長
荒木 尚子

公民館在職中は、ふれあい祭り・地区運動会・男性料理教室・パトロール活動・ささえ会・じごんひろばの発行等々、各部のパワー溢れる諸活動やその準備を目の当たりにする機会も多く、役員や部員の皆様の地域に対する熱い思いに敬服していました。数々の思い出の中に、どろりクラブでの文化部手作りの「ソーメン流し」があります。青竹に流した麺を手供達が眼を輝かせて口一杯に頬張る様子に、いそいそと懸命に麺を運んでおられた故吉本前会長様のお姿が忘れられません。黙々とコ推協等、地域の仕事を力注いでおられました。こうした歴代の役員や皆様の熱意と行動力が地域の和を広げ、二十五年のすばらしい歩みとなったのだと思います。心より感謝と敬意を表し、益々の発展をお祈り致します。



伝統行事を大切に
郷土文化保存会会長
磯辺 忠利

前会長の吉本さんから保存会の会長を受け継ぎ一年になります。目下、地域の伝統行事を、小学校や保育園との交流を持ちながら、皆様に満足していく行事になるよう会員一同努力しております。

六月にはコ推協二十五周年記念式典で保存会が表彰され、一同大変光栄なことで感謝しております。これも前会長の精力的な行動と、たゆまない努力の結果だと思います。これからも地域の皆様のご協力、ご支援、ご指導をいただきながら郷土文化を見つめ、今まで踏襲して来た伝統行事を更に充実させ、魅力ある街作りを目指していきたいと思っております。



地域とともに
平良小学校長
宇佐見 妙子

コ推協二十五周年、おめでとうございます。地御前では、コ推協の方々のご支援を頂きながら、地域の皆様と共に子ども達を育てる営みができたことを感謝しています。地区運動会前になると始まる子ども達の自主的な活動、子ども達が地域に出かけ、



地域の中の子ども
地御前小学校教頭
沖野 玲子

二十五周年おめでとうございいます。私にとっても社会人となって今年が二十五周年となります。この年に、地御前でコ推協とともに子ども達を育てる営みとなることができ、うれしく思います。

二年前の五月、地御前地区の運動会へ参加させていただき、地域の中で子ども達が育っているという実感をし、感動したことを思い出します。地御前にある宝(人・もの)が子どもという宝を育てられていきます。これからも、地域で心やさしく力強い子ども達となるよう願っています。



地域の活性化に思う
町内会連絡協議会副会長
北野 茂

地御前に生を受けて今日まで、時の流れと共に変貌して

いく町並みを見て、感慨無量である。

各種団体並びに地域の方々の活性化の取り組みにもかかわらず、宮内及び阿品地区等の目まぐるしい発展に比べ、一抹の淋しさを感じる方は少なくないと思われる。

十五年四月には広域合併により、佐伯町と吉和村が廿日市市に編入されることになり、先般の山下市長さんの説明の中に、今後は海水欲もスキーム出来るありましたが、現状の下で海水欲が出来るのでしょうか？

海の恵みで生きて来た住民として、先人の方々の尊い教訓を生かし、郷土の大きな発展に皆様と共に頑張っていきたいと思えます。温かいご指導ご支援をお願いします。



思い出
元地御前公民館長
北古 正治

平成十五年新春おめでとうございいます。地御前地域に勤務させていただいた当時から、懐かしう思い出されます。

文化財部で毎年実施された地御前文化財めぐりは、地域の発展の歴史を大切にする上で、意義あることと思います。公民館の行事にも、多大なご支援をいただいたことに感謝し



コ推協の思い出
元地御前公民館長
永井 國恵

「隣組の歌」の様に教えられたり教えたたりです。

就任当初は女性館長一号と言うことで、皆様の鵜の目鷹の目を背中を感じながらの日々でした。でも他の公民館にはないお仕事、地域と密着したコ推協のお手伝いをさせて頂き、お陰で地域へ早くとけこみ、本音でのお付き合いが出来ました。教育長の言っておられた開かれた公民館へ一歩一歩進んでいた様に思われ、感謝していました。

嬉しい思い出、それはコ推協の皆様が公民館に、いろいろ

ろと協力して下さる事でした。公民館が出来たときのことです。公衆電話を設置するについて、それはそれは大変なご苦勞をおかけしました。公衆電話設置基準があり、それに該当しなかったのですから。

また、学校五日制が始まるまで、その対処事業を提案しましたら、早速「ドングリククラブ」を立ち上げて下さり、学校から喜んで頂きました。地御前コ推協は廿日市市の第一号、他地区より沢山視察に來られ、今では各地にコ推協が出来て活躍しておられます。その基は地御前コ推協です。今後の一層の発展を祈ります。



教育のための社会
青少年部長
野村 洋一

現在、青少年の教育環境を見ると、大人社会の価値観の崩壊による混沌がそのまま投影されているように思えます。家庭の教育力が低下している現在、その不足分を地域が補っていく必要を感じます。そのためには地域の大人が積極的に子どもにかかわり、善いことをした時には誉め、悪いことをした時には叱る、この当たり前の事が実行されれば、子どもたちを育む事ができると思います。

今後とも皆様のご協力をお願いいたします。



転ばぬ先の杖
生活部長
若宮 直己

平素、男性料理教室にご理解を賜り、誠にありがとうございます。日本は高齢化が進み、長寿国となりました。平均寿命は男が七十八歳、女が八十五歳で、男が先に行くことになっております。これが逆の場合で、料理が出来ないと困る場合は、自立できる芽を育てておくことが大切です。

当教室の講師は、中島千鶴子先生(管理栄養士・日本糖尿病学会会員)です。塩分控えめ、栄養バランス、カロリー計算等々、身体に優しい男にも作れる、すばらしい料理講習をしていただいています。どうぞ皆さん楽しく勉強しましょう。



昔を偲び今に励む
阿品台地区コミュニティを進める会長
山本 治喜

例年になく寒気が早く、世界の情勢に合わせたかのような年の瀬でありました。今年こそは良い年でありますようにと祈りながら、平成十五年の新春を迎えました。阿品台には昭和五十四年に



エアロビクスの魅力
中之町 漆本 由夏

エアロビクスとは、文字通り健康のための有酸素運動ですが、又別の意味を持った一競技として、オリンピックを目指した大会が、全国各地で開催されています。

エアロビクスが楽しいという昔の思いにやっとなれたころに、「日韓サーキット選手権」に出場しませんでした。お声をいただいた、旅行のつもりで参加したのが本場のところ

です。自分にとって満足いく出来か否かは別に、優勝させていただいた事は、四十歳の私にとって、将来への展望となりました。

今後は、仕事としての書と趣味としての自身の進歩と共に、今年四十一歳を迎える自分出来るエアロビクスへの情熱を大切に、素晴らしい五十年代という十年後を目指して、努力していきたいと思っています。

プロフィール
第一回日韓サーキット選手権 18歳以上45歳以下 チャンピオン
山陽女子学園高等学校書道部講師
廿日市フィットネス協会副会長ほか

生母を見守りながら

浜の町 元山 延子

「百歳パンザイ」の中のご長寿者は何となくと暮らしておられることでしょうか。九十五歳はまだまだ若い！

私の母は今、広島の一ふくだの里で、脳梗塞の後遺症の半身麻痺のため、何から何まで介護を受けながら暮らして入所して今年十年目になり九十五歳を迎える。やはり家庭内で身元元気で長寿の方と、施設で自由に身体が動かない人では、年齢のかさみの違いがあるようにある。私はこのころひしと、母

じとせんひろば

No.57 2003年(平成15年)7月1日 地御前地区コミュニティ推進協議会



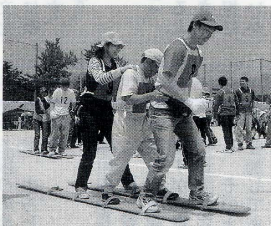
もう、破れかぶれです



まだまだお若い! 逃げ足の早いこと



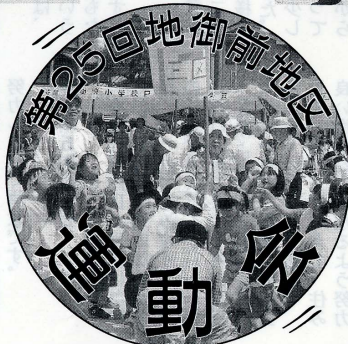
ヤッター! 感激...



思い通りにいかないじれったさ

写真一部 地御前小提供
題字 中山 薫

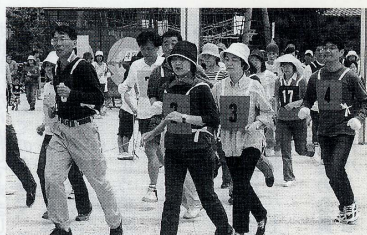
集って



運動会



なかなか敵も手ごわいぞ



緊張、いざ出陣



今日、最高の笑顔



ガブリ! つい手が出そう



ハツラツ! ジュニアバレーボール



添加物は? わたしもう食べちゃっ

縁は異なもの

中村 秀生

60代後半に電車で、中年の女性から席をゆずられ、いささかショックを受けた覚えがある。戦後のレディファーストを是としているので、今でも戸惑いがある。3月のある日、電車の中で前に立つ30歳前後のさわやかな美人に、うしろの席が空いたことを知らせたのですが、「ありがたうございます」と遠慮され、後空いた隣席へ。会釈して先に降り街をぶらついたあと、あるデパートの地下で買い物レジに持っていたところ、「今朝ほどはありがとうございました」と言われ、よく見ると電車の中



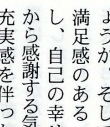
の世に生を受けて六十一年の私、普通の滑らかな軌道に乗ったお姫様人生ではなかった。

家庭の事情もさることながら、学業がこれといって得意ではなかったせいもあるが、女性も何か職を身につけた方がよいという意見も聞き、看護師さんになる学校へ進んだ。これが今の私の人生の基盤となった。それこそ様々な人々との出会いがあった。要するに人の幸せは自分自身で探索し、納得のいくように知り得たら、それをまた人にも与えて喜びを分かち合うことだと思ふ。世の中はすべてお互い様にてできているものですね。私は今、地域の高齢者の集いの場に二カ所程参加させて

随想

地域の看護師さんとして

浜之町 元山 延子



の故郷が三つの故郷があります。生まれ育ちた三歳まで過ごした九州の

頂いているが、やはり年配の方々は相当の年輪を重ねている訳なので、これからの私共にとつて学ばせてもらうことが多いのである。時代は移り変わり、色々な人生模様を描いてこれた年配の方々に相対して、いつの時代にも変わらない人間としての赤裸々な感情や情愛を交えた会話や体験談は、日常のわたしたちの生活を張りつめるものにするのではないでしようか。そして、心身ともに満足感のある一日を過ごす、自己の幸せな身をおのづから感謝する気持ちに変わって、充実感を伴った人生を送っていけるものと思っている。近ごろ私は、年を重ねること、心を豊かにし自分の生き甲斐を見出ししていくことになるのかな、と思いついています。地域の皆さんと一体になって、何か少しでも健康の維持と、幸せに過ごしていけるものを見つけ出していきたいと思っています。

もう一つの故郷

港町 山本 真

私には三つの故郷があります。生まれ育ちた三歳まで過ごした九州の

小さな町。三十三年間暮らし、自分の成長と共に変化を見てきた地御前。そしてもう一カ所、自分の中では故郷と思える所があります。

私は平成十年から二年間、南太平洋にあるフィジーという国におりました。「途上国で何か役に立ちたい」との夢を思い出し、青年海外協力隊員として現地に暮らし、そのす。それまで自動車整備の専門学校で働いていたので、同じ様な学校に勤務しました。地方のキャンパスに配属され、下手な英語に身振り手振りで、二十歳前後の若者を相手に悪戦苦闘しながらも楽しく過ごしてきました。町の人達は皆親切で、言葉が苦手な私はそのうち慣れてきました。仕事以外の時間の多くは、近所に住む友人宅で家族の一員として過ごしました。先日、この家の長女から結婚するということ知らせがあり、早速電話をかけた。遠くの国の妹とも思っている人におめでとうと言いつつ、私を受け入れてくれたこのフィジーという国は、もう一つの私の故郷だと思いました。最近わが町、地御前にも外国の方が増えてきました。彼らにも、地御前は第一の故郷と言ってもらいたいですね。

「推協」二〇〇三年度総会報告

15月13日地御前公民館で開催

☆事業 決算報告 事業計画・予算案

☆諮問

☆功勞者の表彰

江本富士夫、金井裕人、松野洪野

☆会則改正

※構成団体代表者の追加(理事)

地御前まちづくり委員会

(重富 欣治 副会長)

地御前町地区連絡協議会

(宮本 育生 会長)

公衆衛生推進協議会地御前地区

(奥野 五郎 地区長)

地御前町地区人権啓発推進協議会

(西田 弘典 会長)

☆新任役員(再任者を含みます)

◇顧問 細川 房子(「A」地御前支店長)

◇副会長 永川 静優(地御前小学校長)

◇常任理事 児玉 恒明(福祉部長)

◇理事 事町内会長

村上 五郎(町一 監事専任)

渡辺 健一(福 町 早川とみ子(副専西)

数 忠之(砂 島 小田 道兼(野 坂)

峰本 光典(野坂住宅) 森安 伸明(緑ヶ丘)

高野 哲郎(三景園) 川崎 増夫(海晴丘)

村岡 克彦(自由が丘) 林 武二(堀中町)

宮加谷俊広(中町) 飯田 元隆(南町)

奥野 法保(港町)

◇理事 事団体代表者

飯田 元隆(地御前小学校PTA会長)

美川 浩子(地御前商會地御前地区)

※会則改正による新理事は前掲

◇理事 事各部副部長

山田 英和(福祉部)

新 町内会長さんです よろしく

今年度交替して新たに就任された地御前地区の町内会長は、二十九名中十四名に及びました。皆様に抱負などを述べていただきました。

◆扇町町内会長

渡辺 健一

この一年間、新年度役員の方々と町内会の皆様のご協力を賜り、年度事業の運営を執行して参りました。何分のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

◆金剛寺西町内会長

早川 とみ子

運動会も皆様のご協力により終えることができました。町内会が百五軒もあることを初めて知りました。二カ月余りですが、役員の方のご苦労がよく分かりました。ご指導よろしくお願いいたします。

◆砂島町内会長

数 忠之

六十一年の河川改修で道路幅が広くなり、古くからの神社が二社あります。そして一時期、子ども達が少なかったのですが、今は児童数三十人と若い方々が多くなった町内

会です。これからの子ども達の成長と、親御さん達の活躍を期待しております。

◆胡町町内会長

村上 五郎

この度、町内会長に選任されました。今回で三回目となり、若い方だと思いますが、初めてということと二の足を踏まれ、止むを得ず引き受けました。

町内を見て感じることは、一人暮らしの方が多ということ。もし病気にでもなされたらと心配しております。

◆野坂町内会長

小田 道兼

地御前に居住して二十二年になります。その間、皆様にお世話になり過して来ました。今回初めて町内会長で、少しでもお返し出来ればと思っております。まだ不慣れで分からないことばかりですが、町内のお役に立てよう努めていきます。

◆緑ヶ丘町内会長

森 安伸 明

世帯数百十の町内会です。町内会組織が出来て三十年がたちました。

今年は子ども会の会員が僅かに五名。シルバー団地とな

ってしまいました。高齢化は進むばかり、これからは「いかに協力してあつていくか」が、町内会の大きな問題となりそうです。

◆野坂住宅町内会長

峠 本光典

若輩の身で、はなはだ大任でございまして、地御前地区の流れを汲み、町内会のためになれるよう、全力を傾注し努力していく決意です。

◆海晴丘町内会長

川崎 増夫

海晴丘町内にお世話になってから十六年余りになります。が、振り返ってみますと町内のことがよく分かっていない、これは「車に乗って町内を回って見ていたことになりました。これから二年間、町内会長として「元氣」で「歩いて、聞いて、考えて、住み良い海晴丘」になるよう努力します。皆様のご指導とご協力をお願い申し上げます。

◆自由が丘町内会長

村岡 克彦

わがまちは一番新しい町内会だと思いが、落ち着いてごんまりしています。幼い子ども達も大らかにのびのび遊んでいて、将来の夢を抱かせてくれます。

歴史ある地御前の地の文化を受け継ぎつつ、心豊かに根付いて暮らしたいと思えます。よろしくお願いいたします。

◆堀中町町内会長

林 武二

最近、町内会を敬遠する人が増えているようだと聞き、町内会の行事等が皆の負担にならないように配慮していかねければと感じております。皆の言うことに耳を傾け、先輩の意見を広く聞かねばならないと思ひます。皆さんのご指導をよろしくお願いいたします。

◆中之町町内会長

宮加谷 俊広

この度、町内会長の大役を戴きましたが、今まで地域のこととはまかせ、家庭のことは妻まかせでした。しかし、コ推協、地区運動会、公衆衛生、防犯等々、この二カ月で地域の重要性を認識し、この機会に少しでもお役にたてればと願っています。

◆南町町内会長

飯田 元隆

職務上、日曜・祝祭日はほとんど仕事になりますので、行事の際は皆様に迷惑をかけることになり、申し訳ないと思っております。

出来る限りの努力はいたしますので、よろしくお願いいたします。

◆三景園町内会長

高野 哲郎

私の住む三景園は世帯数百数十戸ですが、町内会へ入っていない世帯があり複雑です。しかし、その人達も地域の活動に参加してもらおうべく努力したいと思ひます。他の町内会などの活動を参考に、より良い町内会にしていきたいと思います。

◆港町町内会長

奥野 法保

季節はめまぐるしく変わる今、田植えが済むと田園風景は落ち着いたたずまいとなる。日本の古来の行事・文化や良きしてきたり、この風土から生れてきた。大事に受け継いでいかなければならない。その源は家庭であり地域社会であると確信する。まだ町内のことをいろいろと教わりつつある中で何か新しいものが見えてくるようである。これからも新しい発見をしようと思ひます。

市役所

市民活動支援課

からのお知らせ
平成十一年度に、コミュニ

ティや町内会の窓口である生活環境課を、自治振興課に変更してから四回目、今年度からコミュニティ振興、ボランティア活動推進など、文字通り市民活動の支援に重点を置いて組織替えを行った。人員も増加して地域担当を定め、地区計画の作成実施に於いては、行政も一緒に参加して、お手伝い、すなわち協働で進める第一歩を踏み出したところである。

地区としては、廿日市・佐伯4・吉和1となる。

※課名にはCitizen's Activity...と英文の案内表示がなされ、市民の名称とともに新鮮に感じられた。

ちよつといひ話

不況がいつまでも続き、さてはならぬ戦争を止められず、犯罪も横行するイヤな世の中、地域の片隅からちよつとした明るくさわやかな話題を探していたきました。

御陵衣祭ふれあい清掃

鹿之子 鎌田 愼

去る五月二十九日、地御前の二大祭事の一つ、御陵衣祭（馬とばし）を前にして、今年も地御前長寿会の一員として地御前小学校五年生と一緒に、恒例の『神社のふれあい

清掃』をした。てんでに箒やビニール袋等をさげて、ここちよい汗を流した。

清掃の最中に、『あ、校長先生だ！』の児童のはずむ声。校長先生が笑顔で一人ひとりに声を掛け、嬉しそうに抱える児童。朝の光に一段と輝いて、思わず私は感動した。

九時半には終わって、神社横の日蔭に集まって、担任の先生の話を聞く。そのつづらな瞳に再び感動。御陵衣祭のいわれ等を聞いていたのだらう。汗を流して清めた境内で、地御前の伝統を、活きいきと確実に受け継いでいた。

絵馬を奉納

地小十二年会 香林 輝彦

去る四月六日、桜満開の地御前神社に、地御前国民学校（現地御前小学校）を二十二年に卒業した同窓生四十八名が集い、神事の後、絵馬を奉納。また、大歳神社には「同期の桜」の植樹も行った。

戦中戦後の激動の時代を共に過ごし、平成の今日まで旧交を温めてきた仲間同志が長寿を願って、発案から足掛け三年の歳月をかけて実現させたものである。それもこの記念事業のすべてを、仲間同志の手作りで行った。絵は朝日を活びて優雅に羽ばたき舞う二羽の鶴を中心に、

世界文化遺産である厳島神社の大鳥居。そして右下には舞楽「陵王」を配した構図は、古希記念に相応しい作品として称賛をいただいている。機会があればぜひ一覧願いたい。我々恩師の言葉に「からだ健康、こころ平和」がある。これまでの健康を喜び、自分たちを育み支えてくれた人々への感謝と心の平穏、平和への願いを託して、有志の氏名と共に絵馬の裏面に書き記してある。

わが家のGarden

浜之町 吉本 景子

最近、家の田植えを手伝うようになった。腰をかかめて一つひとつ苗を植えていく作業は、なかなか大変である。しかし、これが意外とコミニケーションの場となる。主人とお姑さんと伯母と田植えをしながら、子どものことから社会の出来事や教育問題まで、話のタネにはこと欠かない。そんな会話を田の水や苗が聞いていて、おいしいお米が育つような気がしてくる。

携帯電話など便利な道具が広まり、いつでもどこでも、遠くの人とも話ができるようになった。しかし、その一方で、不測の事件や事故をもたらしたりしている。

田植えをしていると、お年寄りや近所のおじさんが立ち寄りたりして、世間話に花が咲く。やはり身近に顔を見ながら、じつくりと心から話をしたいものである。

囲碁の楽しみ

囲碁クラブ代表者 田島 幸雄

「碁は憎さも憎しなかつたし」碁の面白さ魅力を感じてい表してなかなか妙を得ていると思ひます。上手はうわてらしく手段の深さの趣があり、下手はしたての面白さがあります。また、負けたり勝ったり、勝ったり負けたりする相手となると、親しさも一層湧いてくるものです。よく、白と黒しかないと石を並べて何が面白いのかと言われませんが、盤面三六一箇所、どこに石を置かなくて心血を注ぐことになりす。

最近、廿日市（東京、神奈川ほかでも）では子供の囲碁熱が盛んになり、当クラブにも小・中・高校生の女性を含む五、六名が大人と交じって練習対局を、そして地御前小学校保育園でも囲碁遊びを共に行っております。地御前の将来を楽しみに期待しましょう。

外へへ、おやべしよ！

福祉部会長 重富 欣治
「明日はサロンつどいがあ

人生を学ぶ

藤岡 照雄

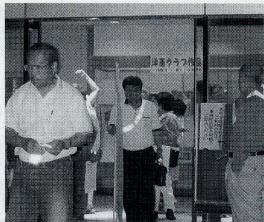
「健康で長生き」は私たち高齢者の切なる願望です。人生は生・老・病・死の四苦から成るといわれます。私たちが生きている時間が少なくなっている焦燥感と、確実に死が迫ってくる現実と、対し、ファイナル人生をどう迎

り・町内会ブロック別対抗「地区大運動会」・ひとり暮らし高齢者昼食会「ささえ会」・準備、清掃、パトロール支援の「御陵衣祭・流鏝馬・管絃祭・大蔵神社御例祭」・男性料理教室「うなぎとゴーヤ」きのこと旬の魚「供養盆踊り」・ニュースポーツ「ペタンク」・声かけ運動「パトロール」・ハイキング「深入山でグランドゴルフ」ほか、「郷土民謡伝承講座」・子どもと一緒に「どんぐりクラブ」・そして「じごせんひろば」の全戸配布も行っています。今後とも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

地御前町内会連絡協議会 会長 宮本 育生 参画 画 型 へ

昨年の夏、一つの情報が行動を起こさせました。七月二十三日の町内会理事会で、討議すべき課題は多くあったが、全員心が動いたのは、あつてはならない事件である。行動すべし、私の十日後からの行動案は打ち消され、二日後からの防犯パトロール実施となった。

五月に行った暗がり点検からみて、ある程度の参加者は考えられたが、予想を超える人数にまた感動である。二回目以降も参加者は減らず、二



公民館からパトロール

意見は活発に出るが行動が伴わない参加型である。今後、地御前町内会には、ホットな情報に行動を起こす参画型町内会に変革することを強く感じ、意を強くしたひと夏であった。

地御前まちづくり委員会 (相良宏三会長) 一委員より もうひとつの看板

まちづくり委員会も四年目に入りました。その活動状況は「まちづくりレポート」4号03・12・11発行」をご覧ください。

さて、十四年度には標識や看板が一斉に設置され、いやでも目についたことと思いま

す。当時は地御前が看板であふれてしまふと心配されましたが、形も色も美しいものに、町の美観を増したいとの願いもありました。今ではまちに溶け込んでいっていると思えますが、いかがでしょうか。

実はもつと看板を増やす企画がありました。一例として「まちづくり受け針No.1」自然と文化を受けつこう

あいつをかわそう
おはよう こんにちは：
まちはきれいにしよう
庭先を 公園を 道路を：
お互いにたすけあおう
福祉を 育児を 安全を：
平和と人権を守りぬこう

公正を ふれあいを：
そのテーマはさらに地球環境・交通安全・防犯・福祉・文化・学習・産業などにまで広げよう。しかし、今のところポツになった次第です。

地御前地区人権啓発推進協議会
(西田弘展会長) 一参加者より
市民学習懇談会



敬老会の余興

地御前敬老会
(相良宏三委員長)

た。小グループに分かれての意見交換で、今回は選挙ポスターと展示会あいつ文が題材とされた。人には大なり小なり差別意識があるといえよう。ここでは自分の気が付かない多くの問題点が指摘され、何事もよく考えて行動する必要があると感じた。

十二月の県民だよりでは、人権侵害として「子どものくせに」高年齢者のいやがらせ」「女性へのセクハラ」「DV(配偶者からの暴力)」「性犯罪」があげられている。差別用語は、中高生のいじめは、無くなったのであろうか。

二人に向かってつばを吐く人の陰口を言ったり、人を毛嫌いすると、同じことが自分に返ってくる。人に優しい安心できる地御前にしよう。

公衆衛生推進協議会地御前地区 地区長 奥野 五朗 指定ごみ袋制のその後

廿日市市も一昨年の十一月一日より、指定ごみ袋と大型ごみの有料制が導入されて一年余りになります。各収集所を時々見回ってみようと、未だに指定以外の袋に入れた出している所が見受けられます。これらは収集されません。廿日市市と記入されている指定袋または廿日市市認定のレジ袋で出してください。

皆さん、収集所のごみが残らないよう、もう一度家庭ごみの正しい分け方をよく確かめて、燃やせる・資源・埋立・大型・小型および複雑・有害の各ごみの区分に分けて出してください。例えば、燃やせるごみは全部指定袋に入れて出す。燃やせるごみでも三センチ以上は小さく切つて袋に入れる。三センチ以上は大型ごみとしてシールを貼って出す。

現在、収集所でよく残っているものは資源ごみで、ちよつとした分別の仕方が違った場合等は収集されません。例えば、びん・かん類で、一升びんを袋に入らずに出しているのをよく見ます。指定袋に入れてください。

次に大型ごみは、大きさによつてシールを貼りますが、

時々シールを剥がされたというのを聞きます。今後、このようなことがないように、ご協力よろしくをお願いします。

伝わったと聞き及んでおります。その昔は、仮装や浴衣に話の一つになりました。

雪駄・草履で、夜が明けるまで踊り続けたのも、今では昔話の一つになりました。

郷土文化保存会は、この伝統ある地御前踊りを継承して行くことに努めています。地御前小学校では、クラブ活動の一環として練習日を設け、運動会や地域の催し事での発表を行っています。地御前保育園では、夕涼み会の行事に参加して、園児と一緒に踊っています。

地御前公民館では、伝承講座を開講して、伝承保存に努めており、盆踊りだけでなく、地域に伝わる俵もみ音頭等を保存していくためにも、地域の皆様の御協力と御参加をよろしくお願い致します。

大蔵神社
宮司 飯田 元隆
奉納 神楽

平成十四年大蔵神社秋季例

地御前長寿連合会中谷満会長
事務局長
十五年度実施行事

五月 児童と地御前神社のふれあい清掃 (御陵衣祭)
六月 ふれあい日帰り旅行 (山口県大島)
七月 地御前神社清掃 (管絃祭)
八月 金剛寺共同墓地清掃
九月 秋祭(大蔵神社)
児童とふれあい清掃
十月 市老連大運動会参加
一月 児童と国道のふれあい清掃
(全国対抗男子駅伝)
三月 予定 地御前保育園清掃

地御前郷土文化保存会
会長 磯辺 忠利
伝統ある地御前盆踊り

地域の歴史と共に伝わってきた盆踊りは、百五十年前から由緒ある踊りで、太鼓音頭、笛、三味線と踊り手の囃子で、故人の供養と地域の繁栄、併せて豊年、大漁を願う踊りと言えられたものです。

この優雅な踊りが近隣地域に広まり、同じ音頭や囃子が

雪駄・草履で、夜が明けるまで踊り続けたのも、今では昔話の一つになりました。

郷土文化保存会は、この伝統ある地御前踊りを継承して行くことに努めています。地御前小学校では、クラブ活動の一環として練習日を設け、運動会や地域の催し事での発表を行っています。地御前保育園では、夕涼み会の行事に参加して、園児と一緒に踊っています。

地御前公民館では、伝承講座を開講して、伝承保存に努めており、盆踊りだけでなく、地域に伝わる俵もみ音頭等を保存していくためにも、地域の皆様の御協力と御参加をよろしくお願い致します。

大蔵神社
宮司 飯田 元隆
奉納 神楽

平成十四年大蔵神社秋季例

地御前長寿連合会中谷満会長
事務局長
十五年度実施行事

五月 児童と地御前神社のふれあい清掃 (御陵衣祭)
六月 ふれあい日帰り旅行 (山口県大島)
七月 地御前神社清掃 (管絃祭)
八月 金剛寺共同墓地清掃
九月 秋祭(大蔵神社)
児童とふれあい清掃
十月 市老連大運動会参加
一月 児童と国道のふれあい清掃
(全国対抗男子駅伝)
三月 予定 地御前保育園清掃

地御前郷土文化保存会
会長 磯辺 忠利
伝統ある地御前盆踊り

地域の歴史と共に伝わってきた盆踊りは、百五十年前から由緒ある踊りで、太鼓音頭、笛、三味線と踊り手の囃子で、故人の供養と地域の繁栄、併せて豊年、大漁を願う踊りと言えられたものです。

この優雅な踊りが近隣地域に広まり、同じ音頭や囃子が

雪駄・草履で、夜が明けるまで踊り続けたのも、今では昔話の一つになりました。

郷土文化保存会は、この伝統ある地御前踊りを継承して行くことに努めています。地御前小学校では、クラブ活動の一環として練習日を設け、運動会や地域の催し事での発表を行っています。地御前保育園では、夕涼み会の行事に参加して、園児と一緒に踊っています。

地御前公民館では、伝承講座を開講して、伝承保存に努めており、盆踊りだけでなく、地域に伝わる俵もみ音頭等を保存していくためにも、地域の皆様の御協力と御参加をよろしくお願い致します。

大蔵神社
宮司 飯田 元隆
奉納 神楽

平成十四年大蔵神社秋季例

地御前長寿連合会中谷満会長
事務局長
十五年度実施行事

五月 児童と地御前神社のふれあい清掃 (御陵衣祭)
六月 ふれあい日帰り旅行 (山口県大島)
七月 地御前神社清掃 (管絃祭)
八月 金剛寺共同墓地清掃
九月 秋祭(大蔵神社)
児童とふれあい清掃
十月 市老連大運動会参加
一月 児童と国道のふれあい清掃
(全国対抗男子駅伝)
三月 予定 地御前保育園清掃

地御前郷土文化保存会
会長 磯辺 忠利
伝統ある地御前盆踊り

地域の歴史と共に伝わってきた盆踊りは、百五十年前から由緒ある踊りで、太鼓音頭、笛、三味線と踊り手の囃子で、故人の供養と地域の繁栄、併せて豊年、大漁を願う踊りと言えられたものです。

この優雅な踊りが近隣地域に広まり、同じ音頭や囃子が

雪駄・草履で、夜が明けるまで踊り続けたのも、今では昔話の一つになりました。

郷土文化保存会は、この伝統ある地御前踊りを継承して行くことに努めています。地御前小学校では、クラブ活動の一環として練習日を設け、運動会や地域の催し事での発表を行っています。地御前保育園では、夕涼み会の行事に参加して、園児と一緒に踊っています。

地御前公民館では、伝承講座を開講して、伝承保存に努めており、盆踊りだけでなく、地域に伝わる俵もみ音頭等を保存していくためにも、地域の皆様の御協力と御参加をよろしくお願い致します。

大蔵神社
宮司 飯田 元隆
奉納 神楽

平成十四年大蔵神社秋季例

地御前長寿連合会中谷満会長
事務局長
十五年度実施行事

五月 児童と地御前神社のふれあい清掃 (御陵衣祭)
六月 ふれあい日帰り旅行 (山口県大島)
七月 地御前神社清掃 (管絃祭)
八月 金剛寺共同墓地清掃
九月 秋祭(大蔵神社)
児童とふれあい清掃
十月 市老連大運動会参加
一月 児童と国道のふれあい清掃
(全国対抗男子駅伝)
三月 予定 地御前保育園清掃

地御前郷土文化保存会
会長 磯辺 忠利
伝統ある地御前盆踊り

地域の歴史と共に伝わってきた盆踊りは、百五十年前から由緒ある踊りで、太鼓音頭、笛、三味線と踊り手の囃子で、故人の供養と地域の繁栄、併せて豊年、大漁を願う踊りと言えられたものです。

この優雅な踊りが近隣地域に広まり、同じ音頭や囃子が

雪駄・草履で、夜が明けるまで踊り続けたのも、今では昔話の一つになりました。

郷土文化保存会は、この伝統ある地御前踊りを継承して行くことに努めています。地御前小学校では、クラブ活動の一環として練習日を設け、運動会や地域の催し事での発表を行っています。地御前保育園では、夕涼み会の行事に参加して、園児と一緒に踊っています。

地御前公民館では、伝承講座を開講して、伝承保存に努めており、盆踊りだけでなく、地域に伝わる俵もみ音頭等を保存していくためにも、地域の皆様の御協力と御参加をよろしくお願い致します。

大蔵神社
宮司 飯田 元隆
奉納 神楽

平成十四年大蔵神社秋季例

地御前長寿連合会中谷満会長
事務局長
十五年度実施行事

五月 児童と地御前神社のふれあい清掃 (御陵衣祭)
六月 ふれあい日帰り旅行 (山口県大島)
七月 地御前神社清掃 (管絃祭)
八月 金剛寺共同墓地清掃
九月 秋祭(大蔵神社)
児童とふれあい清掃
十月 市老連大運動会参加
一月 児童と国道のふれあい清掃
(全国対抗男子駅伝)
三月 予定 地御前保育園清掃

地御前郷土文化保存会
会長 磯辺 忠利
伝統ある地御前盆踊り

地域の歴史と共に伝わってきた盆踊りは、百五十年前から由緒ある踊りで、太鼓音頭、笛、三味線と踊り手の囃子で、故人の供養と地域の繁栄、併せて豊年、大漁を願う踊りと言えられたものです。

この優雅な踊りが近隣地域に広まり、同じ音頭や囃子が

雪駄・草履で、夜が明けるまで踊り続けたのも、今では昔話の一つになりました。

郷土文化保存会は、この伝統ある地御前踊りを継承して行くことに努めています。地御前小学校では、クラブ活動の一環として練習日を設け、運動会や地域の催し事での発表を行っています。地御前保育園では、夕涼み会の行事に参加して、園児と一緒に踊っています。

地御前公民館では、伝承講座を開講して、伝承保存に努めており、盆踊りだけでなく、地域に伝わる俵もみ音頭等を保存していくためにも、地域の皆様の御協力と御参加をよろしくお願い致します。

大蔵神社
宮司 飯田 元隆
奉納 神楽

平成十四年大蔵神社秋季例

地御前長寿連合会中谷満会長
事務局長
十五年度実施行事

五月 児童と地御前神社のふれあい清掃 (御陵衣祭)
六月 ふれあい日帰り旅行 (山口県大島)
七月 地御前神社清掃 (管絃祭)
八月 金剛寺共同墓地清掃
九月 秋祭(大蔵神社)
児童とふれあい清掃
十月 市老連大運動会参加
一月 児童と国道のふれあい清掃
(全国対抗男子駅伝)
三月 予定 地御前保育園清掃

地御前郷土文化保存会
会長 磯辺 忠利
伝統ある地御前盆踊り

地域の歴史と共に伝わってきた盆踊りは、百五十年前から由緒ある踊りで、太鼓音頭、笛、三味線と踊り手の囃子で、故人の供養と地域の繁栄、併せて豊年、大漁を願う踊りと言えられたものです。

この優雅な踊りが近隣地域に広まり、同じ音頭や囃子が

雪駄・草履で、夜が明けるまで踊り続けたのも、今では昔話の一つになりました。

郷土文化保存会は、この伝統ある地御前踊りを継承して行くことに努めています。地御前小学校では、クラブ活動の一環として練習日を設け、運動会や地域の催し事での発表を行っています。地御前保育園では、夕涼み会の行事に参加して、園児と一緒に踊っています。

地御前公民館では、伝承講座を開講して、伝承保存に努めており、盆踊りだけでなく、地域に伝わる俵もみ音頭等を保存していくためにも、地域の皆様の御協力と御参加をよろしくお願い致します。

大蔵神社
宮司 飯田 元隆
奉納 神楽

平成十四年大蔵神社秋季例

地御前長寿連合会中谷満会長
事務局長
十五年度実施行事

五月 児童と地御前神社のふれあい清掃 (御陵衣祭)
六月 ふれあい日帰り旅行 (山口県大島)
七月 地御前神社清掃 (管絃祭)
八月 金剛寺共同墓地清掃
九月 秋祭(大蔵神社)
児童とふれあい清掃
十月 市老連大運動会参加
一月 児童と国道のふれあい清掃
(全国対抗男子駅伝)
三月 予定 地御前保育園清掃

地御前郷土文化保存会
会長 磯辺 忠利
伝統ある地御前盆踊り

地域の歴史と共に伝わってきた盆踊りは、百五十年前から由緒ある踊りで、太鼓音頭、笛、三味線と踊り手の囃子で、故人の供養と地域の繁栄、併せて豊年、大漁を願う踊りと言えられたものです。

この優雅な踊りが近隣地域に広まり、同じ音頭や囃子が

雪駄・草履で、夜が明けるまで踊り続けたのも、今では昔話の一つになりました。

郷土文化保存会は、この伝統ある地御前踊りを継承して行くことに努めています。地御前小学校では、クラブ活動の一環として練習日を設け、運動会や地域の催し事での発表を行っています。地御前保育園では、夕涼み会の行事に参加して、園児と一緒に踊っています。

地御前公民館では、伝承講座を開講して、伝承保存に努めており、盆踊りだけでなく、地域に伝わる俵もみ音頭等を保存していくためにも、地域の皆様の御協力と御参加をよろしくお願い致します。

大蔵神社
宮司 飯田 元隆
奉納 神楽

平成十四年大蔵神社秋季例

地御前長寿連合会中谷満会長
事務局長
十五年度実施行事

五月 児童と地御前神社のふれあい清掃 (御陵衣祭)
六月 ふれあい日帰り旅行 (山口県大島)
七月 地御前神社清掃 (管絃祭)
八月 金剛寺共同墓地清掃
九月 秋祭(大蔵神社)
児童とふれあい清掃
十月 市老連大運動会参加
一月 児童と国道のふれあい清掃
(全国対抗男子駅伝)
三月 予定 地御前保育園清掃

地御前郷土文化保存会
会長 磯辺 忠利
伝統ある地御前盆踊り

地域の歴史と共に伝わってきた盆踊りは、百五十年前から由緒ある踊りで、太鼓音頭、笛、三味線と踊り手の囃子で、故人の供養と地域の繁栄、併せて豊年、大漁を願う踊りと言えられたものです。

この優雅な踊りが近隣地域に広まり、同じ音頭や囃子が

雪駄・草履で、夜が明けるまで踊り続けたのも、今では昔話の一つになりました。

郷土文化保存会は、この伝統ある地御前踊りを継承して行くことに努めています。地御前小学校では、クラブ活動の一環として練習日を設け、運動会や地域の催し事での発表を行っています。地御前保育園では、夕涼み会の行事に参加して、園児と一緒に踊っています。

地御前公民館では、伝承講座を開講して、伝承保存に努めており、盆踊りだけでなく、地域に伝わる俵もみ音頭等を保存していくためにも、地域の皆様の御協力と御参加をよろしくお願い致します。

大蔵神社
宮司 飯田 元隆
奉納 神楽

平成十四年大蔵神社秋季例

地御前長寿連合会中谷満会長
事務局長
十五年度実施行事

五月 児童と地御前神社のふれあい清掃 (御陵衣祭)
六月 ふれあい日帰り旅行 (山口県大島)
七月 地御前神社清掃 (管絃祭)
八月 金剛寺共同墓地清掃
九月 秋祭(大蔵神社)
児童とふれあい清掃
十月 市老連大運動会参加
一月 児童と国道のふれあい清掃
(全国対抗男子駅伝)
三月 予定 地御前保育園清掃

地御前郷土文化保存会
会長 磯辺 忠利
伝統ある地御前盆踊り

地域の歴史と共に伝わってきた盆踊りは、百五十年前から由緒ある踊りで、太鼓音頭、笛、三味線と踊り手の囃子で、故人の供養と地域の繁栄、併せて豊年、大漁を願う踊りと言えられたものです。

この優雅な踊りが近隣地域に広まり、同じ音頭や囃子が

雪駄・草履で、夜が明けるまで踊り続けたのも、今では昔話の一つになりました。

郷土文化保存会は、この伝統ある地御前踊りを継承して行くことに努めています。地御前小学校では、クラブ活動の一環として練習日を設け、運動会や地域の催し事での発表を行っています。地御前保育園では、夕涼み会の行事に参加して、園児と一緒に踊っています。

地御前公民館では、伝承講座を開講して、伝承保存に努めており、盆踊りだけでなく、地域に伝わる俵もみ音頭等を保存していくためにも、地域の皆様の御協力と御参加をよろしくお願い致します。

大蔵神社
宮司 飯田 元隆
奉納 神楽

平成十四年大蔵神社秋季例

地御前長寿連合会中谷満会長
事務局長
十五年度実施行事

五月 児童と地御前神社のふれあい清掃 (御陵衣祭)
六月 ふれあい日帰り旅行 (山口県大島)
七月 地御前神社清掃 (管絃祭)
八月 金剛寺共同墓地清掃
九月 秋祭(大蔵神社)
児童とふれあい清掃
十月 市老連大運動会参加
一月 児童と国道のふれあい清掃
(全国対抗男子駅伝)
三月 予定 地御前保育園清掃

地御前郷土文化保存会
会長 磯辺 忠利
伝統ある地御前盆踊り

地域の歴史と共に伝わってきた盆踊りは、百五十年前から由緒ある踊りで、太鼓音頭、笛、三味線と踊り手の囃子で、故人の供養と地域の繁栄、併せて豊年、大漁を願う踊りと言えられたものです。

この優雅な踊りが近隣地域に広まり、同じ音頭や囃子が

雪駄・草履で、夜が明けるまで踊り続けたのも、今では昔話の一つになりました。

郷土文化保存会は、この伝統ある地御前踊りを継承して行くことに努めています。地御前小学校では、クラブ活動の一環として練習日を設け、運動会や地域の催し事での発表を行っています。地御前保育園では、夕涼み会の行事に参加して、園児と一緒に踊っています。

地御前公民館では、伝承講座を開講して、伝承保存に努めており、盆踊りだけでなく、地域に伝わる俵もみ音頭等を保存していくためにも、地域の皆様の御協力と御参加をよろしくお願い致します。

大蔵神社
宮司 飯田 元隆
奉納 神楽

平成十四年大蔵神社秋季例

地御前長寿連合会中谷満会長
事務局長
十五年度実施行事

五月 児童と地御前神社のふれあい清掃 (御陵衣祭)
六月 ふれあい日帰り旅行 (山口県大島)
七月 地御前神社清掃 (管絃祭)
八月 金剛寺共同墓地清掃
九月 秋祭(大蔵神社)
児童とふれあい清掃
十月 市老連大運動会参加
一月 児童と国道のふれあい清掃
(全国対抗男子駅伝)
三月 予定 地御前保育園清掃

地御前郷土文化保存会
会長 磯辺 忠利
伝統ある地御前盆踊り

地域の歴史と共に伝わってきた盆踊りは、百五十年前から由緒ある踊りで、太鼓音頭、笛、三味線と踊り手の囃子で、故人の供養と地域の繁栄、併せて豊年、大漁を願う踊りと言えられたものです。

この優雅な踊りが近隣地域に広まり、同じ音頭や囃子が

雪駄・草履で、夜が明けるまで踊り続けたのも、今では昔話の一つになりました。

郷土文化保存会は、この伝統ある地御前踊りを継承して行くことに努めています。地御前小学校では、クラブ活動の一環として練習日を設け、運動会や地域の催し事での発表を行っています。地御前保育園では、夕涼み会の行事に参加して、園児と一緒に踊っています。

地御前公民館では、伝承講座を開講して、伝承保存に努めており、盆踊りだけでなく、地域に伝わる俵もみ音頭等を保存していくためにも、地域の皆様の御協力と御参加をよろしくお願い致します。

大蔵神社
宮司 飯田 元隆
奉納 神楽

平成十四年大蔵神社秋季例

地御前長寿連合会中谷満会長
事務局長
十五年度実施行事

五月 児童と地御前神社のふれあい清掃 (御陵衣祭)
六月 ふれあい日帰り旅行 (山口県大島)
七月 地御前神社清掃 (管絃祭)
八月 金剛寺共同墓地清掃
九月 秋祭(大蔵神社)
児童とふれあい清掃
十月 市老連大運動会参加
一月 児童と国道のふれあい清掃
(全国対抗男子駅伝)
三月 予定 地御前保育園清掃

地御前郷土文化保存会
会長 磯辺 忠利
伝統ある地御前盆踊り

地域の歴史と共に伝わってきた盆踊りは、百五十年前から由緒ある踊りで、太鼓音頭、笛、三味線と踊り手の囃子で、故人の供養と地域の繁栄、併せて豊年、大漁を願う踊りと言えられたものです。

この優雅な踊りが近隣地域に広まり、同じ音頭や囃子が

雪駄・草履で、夜が明けるまで踊り続けたのも、今では昔話の一つになりました。

郷土文化保存会は、この伝統ある地御前踊りを継承して行くことに努めています。地御前小学校では、クラブ活動の一環として練習日を設け、運動会や地域の催し事での発表を行っています。地御前保育園では、夕涼み会の行事に参加して、園児と一緒に踊っています。

地御前公民館では、伝承講座を開講して、伝承保存に努めており、盆踊りだけでなく、地域に伝わる俵もみ音頭等を保存していくためにも、地域の皆様の御協力と御参加をよろしくお願い致します。

大蔵神社
宮司 飯田 元隆
奉納 神楽

平成十四年大蔵神社秋季例

地御前長寿連合会中谷満会長
事務局長
十五年度実施行事

五月 児童と地御前神社のふれあい清掃 (御陵衣祭)
六月 ふれあい日帰り旅行 (山口県大島)
七月 地御前神社清掃 (管絃祭)
八月 金剛寺共同墓地清掃
九月 秋祭(大蔵神社)
児童とふれあい清掃
十月 市老連大運動会参加
一月 児童と国道のふれあい清掃
(全国対抗男子駅伝)
三月 予定 地御前保育園清掃

地御前郷土文化保存会
会長 磯辺 忠利
伝統ある地御前盆踊り

地域の歴史と共に伝わってきた盆踊りは、百五十年前から由緒ある踊りで、太鼓音頭、笛、三味線と踊り手の囃子で、故人の供養と地域の繁栄、併せて豊年、大漁を願う踊りと言えられたものです。

この優雅な踊りが近隣地域に広まり、同じ音頭や囃子が

雪駄・草履で、夜が明けるまで踊り続けたのも、今では昔話の一つになりました。

郷土文化保存会は、この伝統ある地御前踊りを継承して行くことに努めています。地御前小学校では、クラブ

じじぜんひろば

地御前の海と宮島鳥影：中央に小学校と保育園

No.59 2004年(平成16年)7月1日 地御前地区コミュニティ推進協議会

[illegible]

二〇〇四年度定時総会 五月十一日、地御前公民館で開催

二〇〇四年度定時総会 五月十一日、地御前公民館で開催

☆会則一部改正

地区内の居住者・勤務者は、誰でもいつでも、この会に加
入できることを、明らかにし
ました。

事業計画

※基本方針
住民相互の連帯と地域の各種団体とを連携を図りながら、心の触れ合う明るい（みんなが安心して住めるまち）づくりに目指し、生きがいや創造活動を推進します。事業を実施するときに、必要に応じて関係する各種団体と協力し、実行委員会のような協議の場を作ることも考えます。

住民それぞれが持つ、助け合いの心と郷土愛を基礎として、『できるとき』に『できるだけやる』ことをモットーに、「みんなが参加できる」活動を目指します。

* 広報部

広報紙（じこせんひろば）の発行によって、地区コ推協のコミュニティー活動の周知を図り、地域の話題・課題なども広く紹介して、情報の共有による連帯と住民意識の高揚に努める。

母と娘の絆を深めて

宗教的には母と娘は業が違
うという。母親というのは娘
の幸せをよこなく願ひ、娘が
嫁いでも未永くその幸福を願
ひ続けるものである。

私は、「これが本当の幸福
というものなのか」と、自身
で実感し得たのは極々最近の
ことである。私は、母より先
に世界に父父親の存在よりも
母親の存在感が大きく、母親
がこの世にまだいてくれるこ
との幸福を噛みしめている。

世の言う「何事も親のある
うち」という言葉を胸に、私
なりの孝養と隣人を大切にし
てきた。おかげでこのところ
施設を生活の場としている母

る。よくある間違った（替り）

母の人生と私の人生とは、その基礎は似通つたものだつた。たゞ母の方は、一徹に人道の精神を保つて生き、私生活の場においても、それは私の子供時代から情性を許さなない母の精神があつた。私は今、そのことに引きつけられてゐる。私のこれから行く道は、やはり自分の職業を生かしながら、人道と博愛の精神に自白と確信を捧げていくしかないと思つてゐる。これは、母の人生と確信している。これを、母の私に見聞を想う気持ちがある。娘の私に見聞を事になつたと思つてゐる。私の人生は、私の人生、そして、天寿を全うして欲しいと思つてゐる。

リンゴの正体

昔、広島市の橋本町に「芸路荘」という建物があり、時々会議などで行っていました。

ある時、便所の落書きに気が付きました。「ニコリオンモクソノオチルヲザリキ」と小さな字で書いてありました。カタカナなので臭いを感ぜないうい、なぜか何時迄も頭に残っていました。

中国では、ものを考えるときに一番適した処として、古くから、枕上、馬上と言われていたようです。枕上は、夜、床に就いた時。馬上は、便所にいる時。馬上は、馬に乗っている時。現代風に言えば、車上、車を運転しているときでしょうか。

このことは、私も思い当たるものがありますし、リンゴの「考える男」の像は、ロダンではなく、まさに便器に座っている姿だと思っております。たいてい、二エートンもクソソチアルのを、便所で見落とすわけはない。と考えるようになり、リンゴの正体が見えてきたように思いました。

しかし、折角きれいな「リンゴの話」をここでぶち壊すことではないと思いたしたので証拠は十分で終わりにしたいと思います。

☆新任役員（再任者は含みません）

☆新任役員（再任者は含みません）

○顧問
押川 貞生
(野坂中学校長)

小玉 雅子
(地御前保育園)

○常任理事

(事務長)

（文化部長）

理事 出羽 満雄

高良 忠昭

中井登

（金剛寺東）
周防龍治郎

（金剛寺西）

(要町)

(後町)

中下 英雄
(堀之町)

河野 哲頼
(鹿之子)

矢吹 恭久
(桃山)

工 和文
(田屋)

三浦 英之
(新巻)

小林 和子

滋野 義則

小島 一彦

○理事（団体代表者）

内田 和子
(保育園保護者)

○理事（各部副部長）
網谷 勝市

（文化部）
森安 伸明

(文化部)

地御前北：左手に看護大学、右手に野坂中学校。中央に活用が待たれる公共用地

新 町内会長さんです よろしく

地御前地区の町内会長は、今年も二十九名中十四名が新たに就任されました。一年で交替された方も四名になります。地域の皆様にもっともかわりのある新町内会長をご紹介し、抱負を述べていただきます。

旭町町内会長

出羽 満夫

旭町は、町内会員の数も少なく会員相互の交流もなかなかむづかしい地域です。しかし、皆様の協力のもとに、諸行事等も円滑にすすめていきたいと思ひます。色々と行き届かぬ事も多いと思ひますが、よろしくお願い致します。

扇園町内会長

高良 忠昭

私たちが住んでいる地御前一丁目には、北側にJRと宮島線及び国道二号線が通り、南は海岸で、その土手から宮島の赤い鳥居が眺望できます。大変静かな環境に恵まれています。近ごろこの環境が脅かされてきました。

春になると潮干狩りに来て、公園にゴミを散乱させ、トイレを汚し、土手の市道の通行を妨げ（駐車）、夏には深夜まで花火遊びの騒音で、住民は大変悩まされます。警察や行政機関に対策を訴えても、

効果には限度があります。

「衣食足りて礼節を知る」は死語と化したのでしうか。

戦後の道徳教育が軽んじられたつづけが今にいたつた感があります。これから町内で知恵を出し合い、環境保全に一層努めたいと思ひます。

◆金剛寺東町内会長

中井 登

私は、三月二十日の町内会の役員会におきまして、はからず町内会長に選任されました。微力ではございますが、一生懸命に努めさせていただきますので、町内会の運営につきましても指導、ご支援、ご協力賜りますようお願いいたします。

さて、当町内会は地御前では最も東に位置しますが、JR宮内車庫にも近く便利に住み良い地域です。また、年初には恒例の「とんど祭り」も行われ、昔の良き伝統を継承しつつ、地域住民の親睦が図られております。

◆金剛寺西町内会長

周防 龍治郎

この度、町内会長に就任しましたが、突然の事で会長としての役割など、右も左もわからぬまま、日々を過ごしております。会長になって先ず驚いたことは、協議会の数の多いことです。総会に出席して皆さんのご尽力の深さに感

動しました。

◆要町町内会長

渡辺 隆弘

この度、町内会長の大役を頂いて二か月が経過し、歴代の役員さんご苦労が少しわかりかけたところで、

今まで地御前に生まれ育つて六十年、地域の人には大変お世話になりました。今後は少しまる役に立てよう頑張つてまいりますので、よろしくお願ひいたします。

◆後町町内会長

飯原 正志

私は、生まれも育ちも岡山です。縁あって、海と山の自然に恵まれた地御前にお世話になって二十九年になります。地域の方は分らないことが多いです。今までの会長さんや、町内の皆さんに教えて頂きながら、頑張つていきます。どうぞよろしく。

◆新港町内会長

三浦 英之

この度、町内会長に選ばれたことにより、地域とのつながりが出来て幸いです。色んな会議に出席させてもらい、また、役員としての仕事を、前任者に度々御指導を受けながら、早一カ月が過ぎました。この上は、諸先輩方のご指導を仰ぎ、全うしていきたいと思ひます。よろしくお願ひ申し上げます。

◆堀之町町内会長

中下 英雄

町内会長を引き受け、右も左も解らぬうちに、各行事がスタートしました。私の出来る事に限りありますが、前会長をはじめ地域の諸先輩方からの助言を頂きながら、二年間の任期を精一杯務めますので、皆様の御協力の程、よろしくお願ひ致します。

◆鹿之子町内会長

河野 哲頼

当町内会は、地御前小学校と保育園に囲まれた地域で、毎日、登校する子供達の元気な姿、元気な声を聞きながら、生活を共にしているところで、私も微力ながら協力を！

◆桃山町内会長

矢吹 恭久

当町内会、平成十二年四月に南町町内会から分離して、五十二世帯で発足しました。その後四年間で六十八世帯に増加しております。私の抱負は、明るく住みよい街づくりを目指して、努力していくことです。皆様の協力ご支援で、よろしくお願ひ致します。

◆田屋町内会長

工 和文

四月十七日の町内会総会で、若輩ながら会長就任を承認されました。町内会には百七十戸あまりの世帯です。微力ではありますが、三人の副会

長を含む各役員の方々のご協力と、先輩役員の方々の指導を頂きながら、町内会運営に取組む所存でございます。

◆エスティム地御前町内会長

小林 和子

夕暮れになると、日本三景の一つ、宮島の大鳥居が海面に映えて美しく輝きます。阿品近くにたつたびわマンションは、五十世帯という少ない戸数ですが、年一回の清掃奉仕には、全世帯の方が汗を流して参加するまとまりのある町内会です。年々子どもの数減り、子ども会の活動は厳しい部分もありますが、田屋地区の他の町内会と協力し、活発に取組んでいます。

巡りきた町内会長のお役で

すが、他の町内会の方と協力し、この地御前を住みやすい町へと、励んでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

◆緑ヶ丘町内会長

滋野 義則

地御前に居住して三十三年、振りかえつてみますと、町内のことをいかに知らなかつたかと痛感しています。今後は皆さんの言うことに耳を傾け、先輩の意見も聞いて、町内のお役に立てよう努めていきます。皆さんの御指導と御協

力をお願い申し上げます。

◆自由が丘町内会長

小島 一彦

私達の町内会は、六年前に発足した地御前地区で一番新しい町内会です。土地にゆかりのある人が多いのですが、私のような転勤族がこの地にほれこみ、住み着いた人達もいます。年代が幅広く、子供達の明るく元気な声が響いています。住んでよかった、住みたいと言われる町にしたいのです。



桃山造成中 '93年2月

◆ごみ問題特集

「ごみ分別表」をいつも座右に

まち角のごみ置場では、収集されずに残されるごみが今も見受けられ、住民にとって悩みの種となっております。分別と持ち出す日がきちんと守られていないためです。まちの環境美化を目指してこの問題に取り組んでいる方々の工夫（対策）とその成果、

またはごみが残される原因などを寄稿していただきました。

市役所の環境政策課では、「広報はつかいち」の「リサイクル通信」でも協力をお願いしているが、近く、地区別ごみ収集カレンダーの全戸配布を行う予定で、間違いないこととなるように努めていきます。

◆ごみ置場の環境美化を目指し

後町 胡 敏秋

「アアア、今朝も又、ごみが残されている」ごみの持ち出し方法が改正されて間もない頃の事である。分別方法が多様化されたため、特に水曜日に誤りが多く見られる。その内容は、出すごみの違いと、分別されていない資源ごみ等です。そこでまず火曜日の夕方に、翌日水曜日のごみの区分を明示したものを掲示し、さらに残された理由を書いたものを袋に張り付ける事から始めた。これらが続ける事で、現在完全とはいかないまでも、大へん良い結果が出ています。これも地域の皆様のご協力によるものです。

この事を考え、今後とも地域の環境美化のため、この問題に取り組んでいきたいと思ひます。地域の皆様、ご協力の程お願い致します。



◆ごみが残される原因

公衛協地区長 奥野 五朗

ごみ袋制度が導入されて三年目を迎えるようになっています。収集日に時々見回ります。ごみが一つか二つ程度残つていて、資源ごみのときが一番多いようです。

残る原因は、中身が色々と混合していることにより、例えば、カン・ビン、ペットボトルが一つの袋にいれて出されるごみは、また、一番多く残るごみは布類です。分別表で資源ごみに記載されていない布類は収集されません。資源ごみとなる布類はきれいに消毒して工場等に送り、ウエスとして使用されます。

これ以外の布類は小さく切つて、燃やせるごみ又は大型ごみとして処理してください。廿日市市は四月一日より、RDF（ごみ固形燃料）製造施設が稼働を始まりました。これは、ごみエネルギーの再利用（発電燃料）として、燃やせるごみで固形燃料を作る施設です。そのため、このごみは、水分をよく切つて出して、乾燥経費の節減に

なりますので、皆さんの御協力をお願いします。

力を宜しく御願ひします。

◆ごみは玄関先へ出す気持ちで

堀新町町内会長 山田 英和

わが町内会には二か所のごみ置場があり、一か所は個人の善意により、私有地を利用させてもらっている。環境美化の取組みについて地区住民の意識は高く、毎年、総会出席率八十％で、ごみの正しい取扱いの共有化を図り、意識交換を行っている。

総会では次のような意見があった。

- 個々人のモラルの問題だ
- 正しく分別する確信のないものは清掃センターに聞く
- 収集日に残つたごみは出し
- よくある間違い（特に資源ごみ）を文書にまとめ各戸へ配布

● 清掃センターの見学

● ごみ袋へ前記の記入等
お互いが意識し実践することにより、不正な取扱いが減少した。ごみ出しは全員が自宅の玄関先へ出す気持ちは、例えば、皆んながより慎重になり改善されて、気持ちよく住み良い町づくりが出来るのではないだろうか。

◆ごみを正しく出ししよう

北町2組

私達の所では月番制で、ごみをキレイに収集してもらえようという心掛けがあります。ただ、仕事の関係から六時頃でないと都合が悪いため、早く出されるようですが、カラスが気づいていないので、今のところよいようです。出来れば七時以降にお願いします。

資源ごみは分別して出していますが、一緒に選り分けること散らかつてしまいます。分類して積んであれば、散らかさずに収集出来るのですが、衛生委員さんや、収集する方の気持ちになってごみを出したいと思ひます。

◆ごみ袋にも名前を

立川 幸子

犬の散歩で、時折ごみ収集場所に残されているごみ袋を見かけます。これからの季節、虫の発生と不衛生になるのではと不安になります。

私の地域では、「ごみ袋」に「名前」を記入して出しています。これは大賛成です。うっかり収集日を間違えたり、分別が不十分で残されたとしても、自分のごみだから持ち帰る事ができます。分別の不安なものは、市役所へ問い合わせをして正しく分別して下さい。へ